

地域協働の学校づくり

コミュニティ・スクールでの コーディネーターの役割

美麻小中学校地域学校協働コーディネーター
文科省総合政策局CSマイスター
前川浩一

プロフィール

昭和36年大阪府生まれ、30歳で長野県へ移住

○職歴

食

- ・スーパー精肉：鮮魚担当、旅館：調理師、農業教育
- ・塾勤務、家庭教師

○職業

- ・民宿&手打ちうどん店 経営
- ・農業、イワナ養殖
- ・美麻小中学校 地域学校協働コーディネーター

○役職等

- ・文科省総合教育政策局CSマイスター R2より
- ・定住促進アドバイザー
- ・地域づくり団体、国際交流支援団体代表
- ・大町市総合計画審議会委員

○著書(共著)

- ・コミュニティ・スクールを持続可能にする地域コーディネーターのキックオフ



美麻小中学校の自慢

- 生徒主体で対話的な授業（協働の学び）
- 多様性を受け入れ生かされる学校
- 子どもも関わる大人も成長する学校

アイスブレイク

今日のゴール

コーディネーターの役割とは何だろうか？

- ①各自自己紹介 所属・立場
- ②それぞれの学校の自慢や課題を紹介
(ひとり1分以内で)

地域が学校と協働する意味とは

役割 I

学校運営協議会での役割

これからの学びの姿

次期学習指導要領を視野に

次期学習指導要領に向けた基本的な考え方

- ①児童生徒が主体的・対話的で深い学びができること
- ②多様な子どもの個性や特性を生かして伸ばすこと
- ③持続可能な仕組みづくり

生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他必要者と協働しながら、自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手をみんなで育む

コミュニティ・スクールをいかに必要性

学校運営協議会の権限

- ① 校長の学校運営方針の「承認」
- ② 学校運営への意見
- ③ 教職員の任用に関する意見
- ④ 業務量管理・健康確保措置の「承認」
(働き方改革 R8より)

問い1

地域が学校運営に参画する学校運営協議会があることで、学校教育にどのようなメリットがあるのでしょうか？

- ①まず2分間自分で考えてください
それを付箋に短い言葉で書いて貼ってください
- ②次にグループで話し合ってください
(6分間)

コミュニティ・スクールの導入でできること

①学校運営協議会の設置

・学校運営への住民の参画

1. 教育の自治

自分たちで自分たちの教育を考える

2. 教育改革

これからを生きる子どもたちに必要な教育を実現

②地域学校協働活動

・地域住民が主体的に学校教育にかかわる

1. 教師だけではできない資質・能力を伸ばす学びの実現

2. 働き方改革の実現

3. 大人の学び

学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進

学校運営協議会での理解と共有

- ① 育てたい子どもの姿の共有
- ② 主体的な学校運営への参画
- ③ 学びでの成長の評価
- ④ 学校での課題、困りごとの共有

私たちが大切にすること

教師と同じ目標で子どもに関わること

- 心理的安全性
- 子ども主体
- 対話
- 深い学び

役割 2

地域協働の授業づくりでの役割

授業づくり

- CSの面白さは授業づくりに関わること
- 先生とともに作った授業で育つ子どもを見る喜び
- 子どもに関わることで大人が成長する体験

問い2

あなたの活動はどっち？

支援 or 協働

- ①まず1分間自分で考えてください
「支援」なら「協働」にするのはどうしたらいいのか？
「協働」ならなぜ「協働」といえるのか？
- ②次にグループで話し合ってください
(5分間)

CSでの授業づくりでのポイント

①学習指導要領の二つの理念

- ・主体的・対話的で深い学び
- ・社会に開かれた教育課程

②地域が学校運営に主体的に関われること

- ・校長のビジョンを十分理解共有していること
- ・教師にも地域にも主体的な活動が生れること

③協働で学校づくりが行われること

- ・同じ目的を対等な関係で(子ども・教師・地域)
- ・心理的安全性が保たれること

授業でなぜ対話を基本とするのか

「良質な問い」

深い学び
「概念的理解」

対話による深い
学び

自分で考える
内化

自分の考えを
修正し表現
外化

自分の考えを表現
外化

人の意見から考え直す
内省

人の意見を聞く
内化

地域協働の授業づくりに必要なこと

- 情報収集と発信・・・ニーズ把握
- 事例、人材や地域資源の情報
- 授業づくり相談、授業への提案

地域協働の授業づくりに必要な情報

創る・・・コーディネート

- ・ 授業の目標
- ・ 授業デザイン
- ・ 時間
- ・ 役割分担
- ・ 子どもの情報

美麻での地域と学校の協働による授業

遠足 2026年

1.2年

オオタカの巣のある森

3.4年

伝説の石と化石採取

- コース提案
- 下見
- 説明、指導者
- 安全、見守り
- 保護者の参加



- 美麻の特色
- 教科学習
- 多様性への対応

美麻での地域と学校の協働による授業

社会・総合 4年 森の授業

- ・ 木の名前や特徴学習
- ・ 木の伐採
- ・ 木の加工・活用
- ・ 林業現場

- ・ 美麻の特色
- ・ 教科横断的
- ・ 当事者意識
- ・ 放課後との連携



美麻での地域と学校の協働による授業 わたしの事例

2年 生活科
大豆の栽培 豆腐作り

5年 家庭科
味噌汁づくり だしの授業

6年 理科
イワナの解剖・命をいただく

7年 家庭科
イワナの調理 和食・フレンチ

共有すること

- ・授業の目的
- ・目指す子供の姿
- ・時間・役割
- ・子供の情報



美麻での「教科学習」での地域との協働

- 社会科
- 理科
- 数学科
- 国語科
- 英語
- 道徳
- 家庭科
- 生活科
- 音楽
- 体育

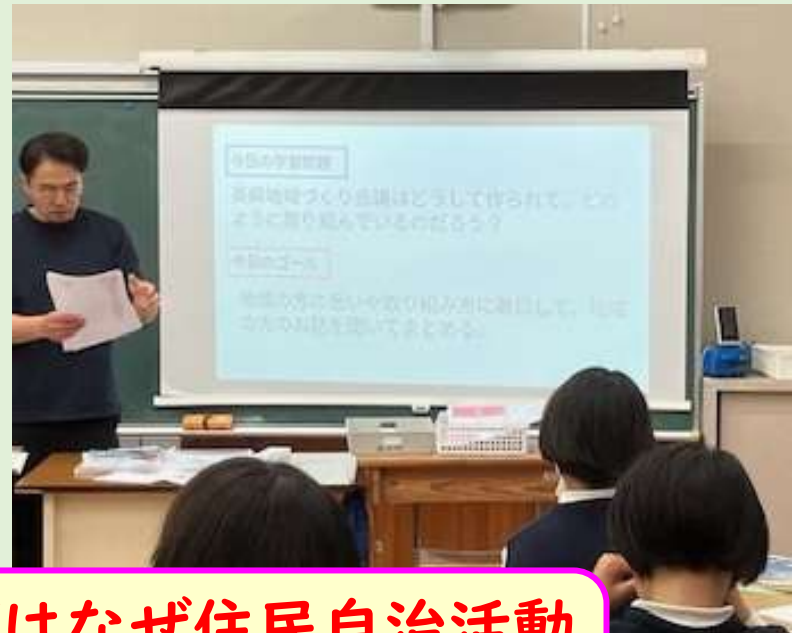
6年社会科 政治・自治

地域参加者

- 地域づくり役員
- 議員

打ち合わせ

- 目的
- 内容
- 思い
- スケジュール



美麻ではなぜ住民自治活動
が行われているのか



地域との協働による教科学習の授業

8年 数学 統計・1次関数（獣害統計 人口統計）

総合的な学習から数学への展開



実社会との繋がり

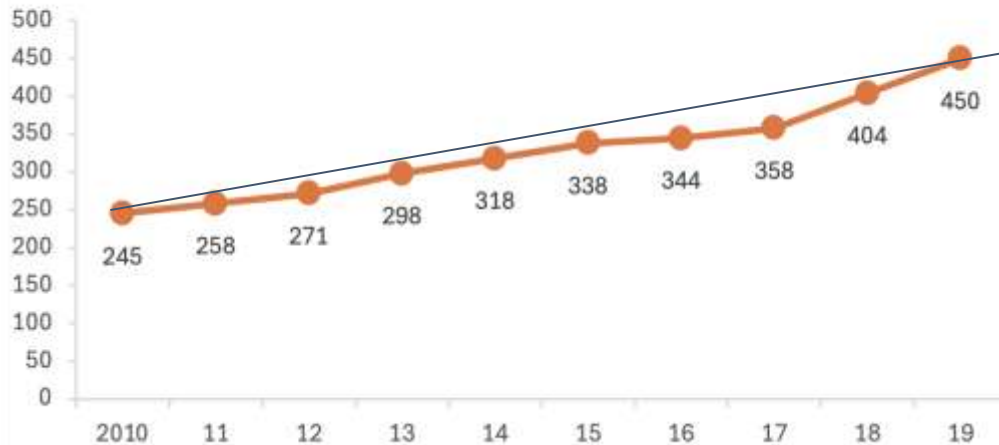
【学習問題】

このまま、鹿が増えるとうなっていくだろう？ 2025年（現在）、5年後（2030年）はどうなるだろう？

【ゴール】

データから将来について予測ができる

美麻の鹿の頭数（推定）



私が選んだ2点（10、245）（19、450）
【この2点を選んだ理由】
情報がいっぱいあったほうが良いと思ったから。

【一次関数の式】

$$y = \frac{205x}{9} + \frac{155}{9}$$

【私の予測】 美麻の鹿の頭数は、

2025年 約587頭 （17年からの増え方だと726頭）

2030年 約701頭 （17年からの増え方だと956頭）

8 学年 社会 「日本の諸地域～交通・通信～」

中核的概念「交通・通信の発展は地域に変容をもたらす」

単元の問い「交通・通信の発展は、地域にとって良いこと？悪いこと？」

美麻にとって、
本当に必要な交通・通信の発展は何だろう？



道の駅の活用を
みんなはどう考える

中国・四国地方で見つけた「**デメリット**」は、
美麻でも起きているのか！？

みんなの予想

- ・ **ストロー現象**が起きて、**人口が少なくな**って、**少子高齢化**が起きている。
- ・ 一概に道路ができたせいとは言えないけど、**美麻の人口が減**ってるのは事実？
- ・ 交通網が発達したおかげで、観光に来てくれるお客さんが増えるのは良いけど、将来を担う**若者たちが都市部に出**てしまっているのはオーマイガーな事だと思う。
- ・ 今美麻に住んでる人って美麻に小さい頃からいる人達というよりは、**外から移り住んだ人の方が多**いイメージ？
- ・ 美麻って、**移住者に人気なのに過疎化**ってどういうことなんすかね？**若者が美麻の魅力に気付**けてないだけなんすかね？

高度経済成長期、人が出て
いった地区があるよ

学生の通学支援、高齢者の
買い物支援をしているよ



教科学習での地域と学校の協働

- 地域の現実で学びが自分事に
- 学習が社会でどう役立つのか
- 対話で深い学びに到達する

総合的な学習での地域と学校の協働 美麻市民科の学びづくり

地域課題解決型の学習

- 大テーマの設定
- 6年から9年の縦割り、選択制
- 5年生の導入プログラム
- 学習の目的と計画を明確に
- 継続的な学び
- 教師の役割・地域の役割の明確化
- 地域の委員による学びの評価
- 教師と評価者の課題共有時間
- 地域講師による教員研修

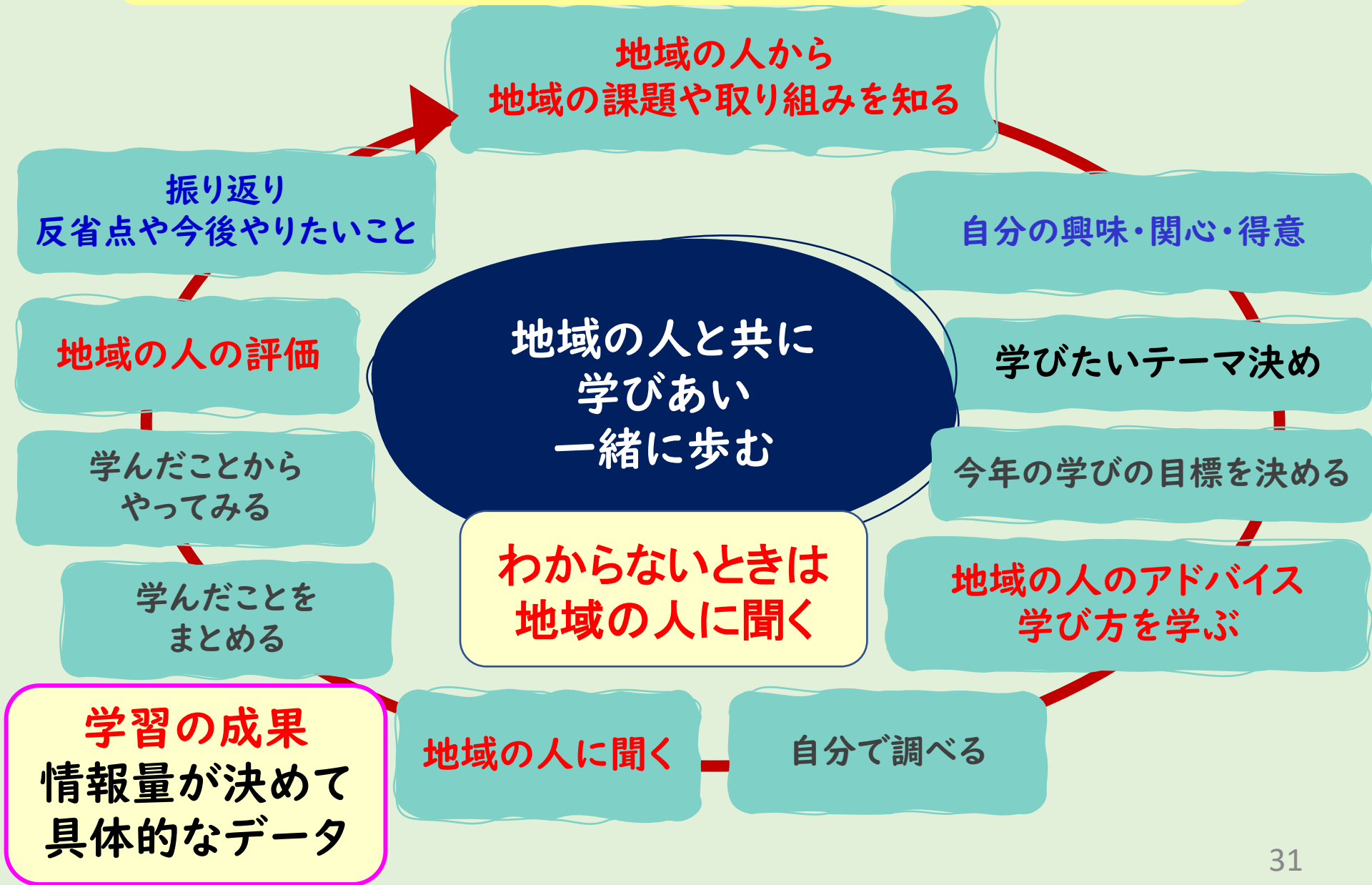


助成金の獲得・・・

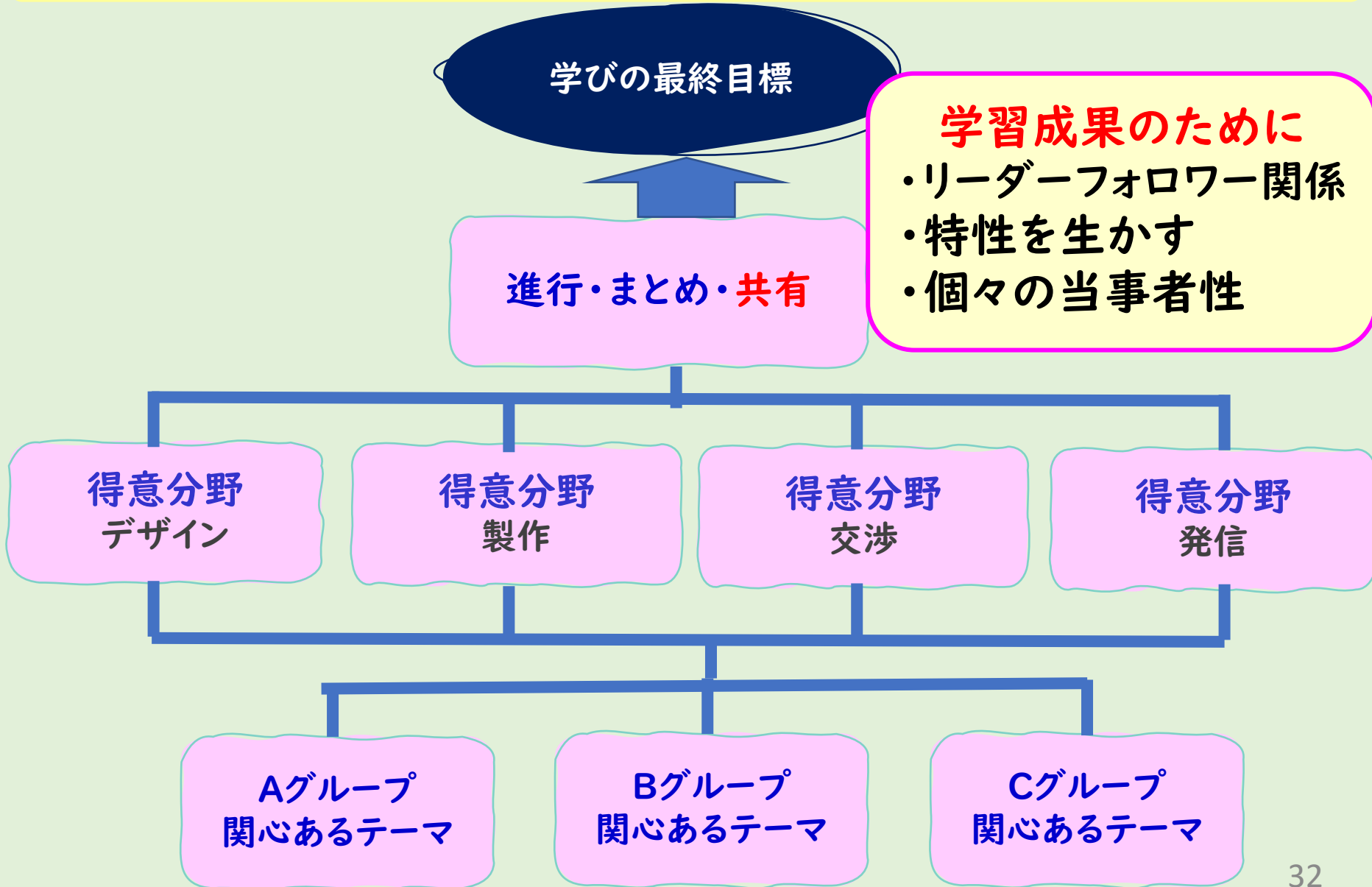


地域の生き甲斐に・・・

美麻市民科の学び方



美麻市民科の学び方の例（役割分担）



地域と学校の協働による総合的な学習

テーマ：地域の魅力（文化） 美麻の民話

- ① 民話にまつわる地域訪問
- ② 民話のデザインと歌（時計）
- ③ 絵本づくり

今後のポイント

- 課題は何か
- プロとの出会い
- 予算の計画



地域と学校の協働による総合的な学習

テーマ：地域の魅力（特産品） 花豆の6次産業化

- 花豆農家と店舗の協力
- 商品開発
- プレゼン
- 販売
- レシピ集製作
- 花豆BOOK製作
- 栽培研究

今後のポイント

- 課題解決ができるか？
- 具体的なデータ
- 方向転換もありうる



地域と学校の協働による総合的な学習

テーマ: 地域課題 (人口減少) 古民家の活用

- ・ 聞き取り活用調査
- ・ 先進事例視察(山梨県)
- ・ 古材販売会社見学連携
- ・ 保存活動 (片付け・土壁修復・活用)
- ・ 今後への活動提案
- ・ 移住見学ツアー R7

今後のポイント

- ・ 広い視野
- ・ 移住定住
- ・ 適切な目的設定



定員 ■ 12名(先着順) 最少催行人員2名
参加費 ■ 3,000円(昼食代込)
集金 ■ 大町市役所 早崎25分



主催 ■ 大町市立美麻小学校PTA
共催 ■ 大町市立美麻小学校
協賛 ■ 大町市役所 早崎25分

地域と学校の協働による総合的な学習

テーマ：地域課題（農地山林）
獣害対策、鹿肉や革の活用

- 獣害の学習
- 鹿革デザインコンテスト
- 製品の販売活動
- ワークショップの運営

ポイント

- 目的意識（出口の設定）
- 当事者意識
- 役割分担と共有
- モノづくりでの穴
- 持続性



美麻市民科のアップデート

- ・ 15年前に校長の要望で中学課程でスタート
発表パネル予算や授業への地域の関わり
地域づくりでの予算化・役員の授業参加

- ・ 12年前コミュニティ・スクールの導入
深く学べない・パートナーズが授業へ参加
単年度→2年（ゆるキャラ制作）→3年

- ・ 小中一貫のカリキュラム
美麻市民科が3年生以上でカリキュラム化

- ・ 2025年12月更新
教師や生徒の資質・能力が影響
カリキュラムとシステムを再構成

美麻市民科のアップデート 2025年12月より

テーマや縦割りグループの検討

- ・ テーマ決めの難しさ
- ・ 選択肢
- ・ 学年による学びの質の違い
- ・ 地域が協働する意味
- ・ 学びの継続性
- ・ 義務教育学校のメリット

カリキュラムとシステム作り

- ・ 学習の目的を明確に
- ・ 教師の役割・地域の役割
- ・ 学び方を明確化
- ・ 評価システム

総合学習での4回のテスト（評価）の意義

- ・地域による子供たちの学習内容の評価（もどす）
- ・事前に先生がたとの共有の時間（先生の課題解決）

- ①プレテスト 1月 スタート時の目的や目標設定
- ②ミッドテスト1 5月 活動の適正、修正
- ③ミッドテスト2 9月 活動の中間発表
- ④ポストテスト 12月 振り返り、次への課題、総合評価

ポイント

- ・活動の目的
- ・当事者意識
- ・役割分担と共有
- ・計画性
- ・プレゼンの質



問い2

地域と協働でつくる授業では、学びに
どんなメリットが生まれるのでしょうか？

- ①まず2分間自分で考えてください
それを付箋に短い言葉で書いて貼ってください
- ②次にグループで話し合ってください
(6分間)

地域協働の総合的な学習での成長 ～花MAME株式会社で学んだこと～

・社長の生徒の言葉（2022年3月卒業）

学んだことの一つ目は共有する大切さです。目標はひとつですが商品開発や栽培研究、広報の3つのチームで行いました。共有をしないと目標と違うことをしたり、同じ仕事をしたり、逆に誰もやっていないということがおきます。新しい視点やアドバイスを得ることができるという意味でも共有を毎時間初めと終わりには必ず行いました。

二つ目はコミュニケーション力、正しく聞いてうまく伝える力です。社長は常に誰かと話します。たくさんの人に知ってもらうために常に伝えるようにしました。指示を出す、インタビューに答える、話を聞く、発表する、コミュニケーションが取れないと誰も動かず間違っただわるので、伝わるように伝えるを常に意識しました。また、農家や商店にインタビューしたり仲間の話を聞く時には、重要なことを聞き逃がさないように正確に聞くことを意識しました。

三つ目は、全体を見る力です。誰がなんの仕事をしていて、誰の手が空いていて、何をしなければならないのか、全体を常に把握し、話し合いながら今やるべきことを考え実行しました。

地域と学校の協働による授業

総合的な学習美麻市民科での地域の役割

- **きっかけづくり**
 - 地域課題や取り組み
- **学び方の学び**
 - 調査方法、プレゼン、チーム構成
- **コーディネート**
 - 地域財産（人・もの・こと）の紹介
- **社会につなげる**
 - プロとの出会い
 - 販売の場
- **発表の場づくり**
 - 学校でのポスターセッション
 - 文化祭での発表
 - イベントや助成金でのプレゼン



教師だけでは出来ないこと



資質・能力を育てる

授業づくりでの協働のために必要なこと

子どもや先生の課題を検討

- ・先生の苦手
- ・子どもたちの関心
- ・学びの質
- ・地域が協働する意味
- ・学びの継続性
- ・義務教育学校のメリット

カリキュラム作り

- ・学習の目的
- ・教師の役割・地域の役割
- ・必要な人材

振り返り

役割 3

地域の主体的な活動での役割

地域が主体で担う学び

1. 放課後学習 (5~9年生対象)

- ・ 英語・数学(算数)・理科・国語中心に
5教科の指導

2. 放課後子ども教室 (3~9年生対象)

- ・ 地域性を生かした体験的な学習 (月替わり)

- ① 英語でアウトドア
- ② お山の学校 (木エ・山歩き)
- ③ 実験教室
- ④ プロに学ぶ写真教室
- ⑤ 花豆料理教室
- ⑥ 星の教室
- ⑦ 鹿革クラフト教室



地域が主体で担う学び

1. 放課後学習

- 授業のターゲットから外れる子どもたちへの学習支援
- 多様性への対応
- 先生との情報交換や教材提供による課題解決

2. 放課後子ども教室

- 地域の人材や財産を生かした体験的な学習
- 多様性への対応
- 学校目標を理解した学習
- プロや本物との出会い
- 子ども達視点でのプログラム
- 縦割りや対話を大切にした教室
- 大人も学べる内容

学校運営協議会での共有

役割 4

研修会での役割

スクールパートナーズ企画による研修会

学びづくりによる大人の学び



- 教員対象 CS研修会
- 教員対象 ファシリテーション研修会 4月
- 生徒対象 プレゼン講習会 8月
- 総合的な学習特別授業（視点や計画など） 5月
- デザイン講習会
- スクールパートナーズ研修会 5月 2月

スクールパートナーズ研修会

地域と先生が対話できる
大人の学びの場づくり



- ・コミュニティカを使った授業の実践
- ・総合的な学習の学びへのかかわり方
(アクティブラーニング・視点・ファシリテーション・学びの目的)
- ・総合学習美麻市民科同窓会
(異動された先生や卒業生の成長の振り返り)
- ・授業に学ぶ「協働の学び・深い学び・良質の問い」

問い3

地域と協働でつくる学校では
大人（教師や保護者、地域の人）にとって
どんなメリットがあるのでしょうか？

- ①まず2分間自分で考えてください
それを付箋に短い言葉で書いて貼ってください
- ②次にグループで話し合ってください
(6分間)

コミュニティ・スクールによる 地域の変化

- 授業や研修で大人が学ぶ

(教師・保護者・ボランティア)

- 地域活動への展開
- 新たな人間関係作り、移住者の入り口

地域と学校の協働による授業づくりのために

地域コーディネーターと先生がたとの対話

- ・地域課題の理解
- ・地域人材・資材を知る
- ・ファシリテーションの重要性
- ・会社や社会の現場の理解
- ・地域の学び方の理解
- ・教育ビジョンの共有
- ・協働の学びの共有
- ・授業の作りについての熟議

わたしの気づき

協働 = 開く

子ども・先生・地域

先生の協働と地域の役割

あなたの答えは

コーディネーターの役割とは？